

エンプロイアビリティチェックシート 簡易版

(Employability Check Sheet)

(引用：厚生労働省「エンプロイアビリティの判断基準に関する調査研究報告書」2001)

このワークシートは、いわゆる正規雇用で働くことに対して今一つ自信が持てない方や、自己PRなどに自信がない方の経験を振り返り、若者就職基礎能力（厚生労働省 2004）や社会人基礎力（経済産業省 2006）で示される、企業で雇用され活躍するために必要とされる能力を洗い出し、訴求力のある自己PR材料を洗い出すためのシートです。

若者就職基礎能力や社会人基礎力で示された能力等は以下の表のとおりです。各項目を読み、「自己チェック」欄に、自分として普段できているや自信のあることには◎、心掛けているが不十分だと思うものには○をつけてみましょう。

職業人意識		自己チェック	
就職基礎能力	P1：責任感	社会の一員として役割の自覚を持っている	
	P2：向上心・探求心	働くことへの関心や意欲を持ちながら進んで課題を見つけ、レベルUPを目指すことができる	
	P3：職業意識・勤労観	職業や勤労に対する広範な見方・考え方をもち、意欲や態度等で示すことができる	
社会人基礎力	前に踏み出す力（アクション）—— 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力		
	A1：主体性	物事に進んで取り組む力	
	A2：働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	
	A3：実行力	目標を設定し確実に行動する力	
	考え抜く力（シンキング）———— 疑問を持ち、考え抜く力		
	Th1：課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	
	Th2：計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	
	Th3：創造力	新しい価値を生み出す力	
	チームで働く力（チームワーク）— 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力		
	Te1：発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	
	Te2：傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	
	Te3：柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	
	Te4：状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	
Te5：規律性	社会のルールや人との約束を守る力		
Te6：ストレスコントロール力	ストレスの発症源に対応する力		